



2016年4月25日

各 位

株 式 会 社 I H I
 東京都江東区豊洲三丁目1番1号
 代表取締役社長 満岡 次郎
 (コード番号 7013)
 問合せ先 常務執行役員 望月 幹夫
 財務部長
 T E L 0 3 - 6 2 0 4 - 7 0 6 5

2016年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

2016年2月2日に公表しました2016年3月期通期の業績予想について、下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 2016年3月期 通期業績予想数値の修正(2015年4月1日~2016年3月31日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (2016年2月2日発表)	1,550,000	25,000	15,000	△30,000	△19.43円
今回修正予想 (B)	1,540,000	22,000	9,500	1,500	0.97円
増減額 (B-A)	△10,000	△3,000	△5,500	31,500	—
増減率 (%)	△0.6	△12.0	△36.7	—	—
(ご参考) 前期実績 (2015年3月期)	1,455,844	63,253	56,529	9,082	5.88円

2. 業績予想修正の理由

通期の連結業績予想につきましては、売上高は概ね前回発表予想どおりとなる見込みです。

一方、損益面では、航空・宇宙・防衛事業で為替円安や採算の良いエンジンの売上割合が増加したことにより好転したものの、資源・エネルギー・環境事業でプロセスプラント工事のコスト増加見通しを織り込んだこと、社会基盤・海洋事業でノルウェー向け洋上浮体式石油生産貯蔵積出設備(FPSO)船体建造工事の海外造船所への外注費用ならびにトルコ イズミット湾横断橋建設工事の工程遅延に伴う機材費および工程促進費用が前回発表時から更に増加したため、その分を工事原価総額に織り込んだことから、営業利益は前回発表予想に対して減益となる見込みです。経常利益についても、外貨建て債権・債務の評価レートが想定より円高水準となり為替差損が発生したことから、前回発表予想に対して減益となる見込みです。

また、2016年3月28日付け「固定資産の譲渡に関するお知らせ」のとおり、2016年3月期において固定資産売却益を特別利益に計上したことに加えて、税金費用も減少したことから、親会社株主に帰属する当期純利益は、前回発表予想に対して増益となる見込みです。

前回発表予想時に減益要因となった、ボイラ溶接部位不適合に係る補修費用、並びに工程遅延に起因して請求される可能性のある契約納期遅延に係る費用については、前回発表時に想定した金額の範囲内におさまる見込みです。

なお、期末配当予想(1株あたり：0円)の修正はございません。

(注) 上記の業績予想数値につきましては、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上